

プログラミング教材を使ってみよう

# 「ねそプロ」で生活や社会の問題を解決 補足資料②



## 「ねそプロ」ショッピングサイトを作ろう ショッピングサイトを作って、みんなで買い物しよう <指導案>

ネットワークを利用したショッピングサイトの売り上げは、年々増加しています。ここでは、使いやすいショッピングサイトの画面を作成し、ボタンが押されたときの作動をプログラムさせます。そして、決定ボタンやキャンセルボタンなど、ショッピングサイトとして必要な機能を作成しながら考えさせます。「接続先アドレス」をクラス内で同じ値にすることで、作成したショッピングモールで互いに買い物させることもできます。



図1 ねそプロ「ショッピングサイトを作ろう」完成

段階	学習内容	学 習 活 動	指導上の留意点等 *留意点 ★教材 ●評価
導入 8分	1. ショッピングサイトの利用を振り返る	・ショッピングサイト利用の経験について答える 楽天, zozoTown, Amazon 等	★「ねそプロ」Webサイトのショートカットを作成しておく
	2. ショッピングサイトの機能と特徴を考える	・商品の画像、価格、特徴を見る ・注文個数を入力できる ・購入（決裁）できる ・口コミを記入できる ・商品を評価できる	*ショッピングサイトでは、商品の名前、画像、商品説明などのコンテンツを掲載していることに気づかせる
	3. 学習内容の把握する	ショッピングサイトのしくみを知り、プログラミングしてサイト作ろう	
展開 3分	4. ショッピングサイトを使うときの注意を確認してから、「ねそプロ」を起動	・個人情報を書かない ・他人を傷つけることを書かない ・買いすぎない	★注意事項を確認してから「ねそプロ」を起動させる
	5. 「ねそプロ」でショッピングサイト画面を作る	・「画面に表示スタート」を置きその下にブロックを置く ・「実行」を押してショッピングサイト画面を作成	*ブロック移動後は「実行」を押さないとプログラムが実行できないことを注意する *ブロック順を入れ替えて実行すると画面が変化することを確認させる ●ショッピングサイト画面を作成できた

	6. 「▲ボタン」のプログラムを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「▲ボタンが押された」に必要なブロックを入れる</li> <li>・個数の上限の作動確認をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ここでは、個数を増やすプログラムを作らせる</li> <li>※正しく作動させるための条件分岐を確認する</li> </ul>
	7. 「▼ボタン」プログラムを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「▼ボタンが押された」に必要なブロックを入れる</li> <li>・個数の下限の作動確認をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「▲ボタン」のプログラムを作成することができた</li> <li>●「▼ボタン」のプログラムを作成することができた</li> </ul>
	8. 「カートボタン」のプログラムを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決済の流れについて考える</li> <li>・もどるボタンでキャンセルできることを知る</li> </ul>	●「カートボタン」のプログラムを作成することができた
	9. 自分のショッピングサイトで買い物をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個数を増やす、減らす、カートボタン等が正しく作動することを確認する</li> </ul>	●正しく買い物ができる。
	10. 「ショッピングサイトで買い物しよう」のページを開き、となりの人が作ったサイトで買い物をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ショッピングサイトを作ろう」と、「ショッピングサイトで買い物しよう」の「接続先アドレス」に同じ値を入れて表示されることを確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※「接続先アドレス」が同じ店だけが表示されることを話す</li> <li>※書き込み内容がサーバに記録されていることを話す</li> </ul>
	11. クラスでショッピングモールを作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ショッピングサイトを作ろう」の「接続先アドレス」にクラス全員で同じ値を入れて、出店する</li> </ul>	※アドレスは先生が指定する
	12. クラス全体で、買い物を体験する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ショッピングサイトで買い物しよう」の「接続先アドレス」にクラス全員で同じ値を入れて、買い物を体験する</li> </ul>	
終末10分	13. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングサイトのプログラミングのプログラムを確認する</li> <li>①商品の個数に必要な機能</li> <li>②決裁に必要な機能</li> <li>③セキュリティの役割について</li> <li>・今日の学習を生かして、これからどのような行動や生活すべきか考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●作成したプログラムをプリントに記入する</li> <li>●ショッピングサイト利用の注意すべき点をまとめ、これからの生活に生かそうとする</li> </ul>

## 商品や各ショップの売り上げを見る

「売り上げランキングを見よう」ページを表示し、「接続先アドレス」にも同じ値を入力します。クラス全体のショッピングモールで、売れている商品ランキング、各ショップの売り上げが表示されます。生徒に、売り上げをさらに伸ばすための機能を考えさせます。また、買い物額のランキングから、使った金額に値する「労働時間」を確認させることで、お金を大切に使う心を育てます。

順位	店名	売り上げ金額	ランキング
1	Web洋雑誌	20000円	
2	Web文庫見本	500円	
3	ネットショップ3-3	200円	
4	はじめのネットショップ	40円	
5	練習帳さん	0円	
6	スポーツ館	0円	
7	ネットショップ2	0円	

  

順位	商品名	個数	金額	商品名	順位	商品名	個数	金額	商品名
1	鉛筆	90	90円	ジャケット	1	ジャケット	2	10000円	ジャケット
2	消しゴム	250	250円	カーティガン	2	カーティガン	2	4000円	カーティガン
3	ノート	200	200円	Tシャツ	3	Tシャツ	2	2000円	Tシャツ
4	コンパス	200	200円	パーカー	4	パーカー	1	2000円	パーカー
5	Tシャツ	2000	2000円	ワイシャツ	5	ワイシャツ	1	1000円	ワイシャツ

図2 売り上げランキングを見よう